

ヤングケアラー・若者ケアラー支援シンポジウム

1. はじめに／開会挨拶

瀬川課長／

それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。皆様、本日はお忙しい中、「世田谷区ヤングケアラー・若者ケアラー支援シンポジウム」にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、世田谷区子ども・若者部 子ども家庭課長の瀬川と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日は、記録のために、ビデオ・写真撮影及び録音をさせていただいております。あらかじめ、ご了承をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、世田谷区子ども・若者部長の松本より、ご挨拶させていただきます。

松本部長／

皆様、こんにちは。世田谷区子ども・若者部長の松本と申します。

本日は、このヤングケアラー・若者ケアラー支援シンポジウムの方にご参加いただきまして誠にありがとうございます。本日は、地域の方をはじめ、民生委員、児童委員、学校関係者、医療、看護、介護事業所の方など、多くの方にご参加いただいております。また区職員も多数参加してございます。皆様には、日頃から区政に多大なるご尽力・ご協力をいただきまして本当にありがとうございます。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

ヤングケアラーという言葉は、ここ数年、新聞や報道番組、またテレビ CM などで随分耳にする機会が多くなってまいりました。そのように皆さんも感じられているのではないかなと思います。国の方では 2022 年度～2024 年度までの 3 年間で、ヤングケアラー認知度向上の集中取り組み期間としまして広報媒体等を利用した周知啓発に取り組んでいるところでございます。

世田谷区でもこれまで学校の教職員や福祉サービスの従事者、青少年地区委員などを対象にしましてヤングケアラーの研修をしてきました。受講された方からは「ヤングケアラーという言葉は聞いたことがあるけれども、ヤングケアラーが具体的にどのような子どもの状況なのかよく知らなかった」そうした声を多く耳にしております。本日もご参加の方も同じように感じられている方もいらっしゃるかもしれません。

本日は、社会福祉士、公認心理師、特別支援教育士の資格をお持ちで、尼崎市を中心にスクールソーシャルワーカーとして勤務をされております、黒光さおり先生に、ヤングケアラー・若者ケアラーの現状と抱える課題、また必要な支援についてお話しいただきます。黒光先生は、令和 3 年度に国の方で立ち上げましたヤングケアラーの支援に向

けた福祉、介護、医療、教育の連携プロジェクトチーム会議にご出席されており、また新聞等の各メディアの方でもヤングケアラー支援について取り上げられるなど、大変ご活躍をされております。

後半では元当事者の方や区の教育総合センター長より、事例、取り組みについてお話を伺うことで、私たちが子どもの今と未来のために何ができるのか、みなさんと一緒に考える場にできたらと考えております。

このシンポジウムを通じまして、地域の方や関係の皆様が理解が深まり支援に向けた環境づくりをおこなうことで、有意義なものになることを願っています。

結びに参加の皆様のみずみずのご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。